

## 総評

国語は易しく、数学・英語が難しめで、教科ごとの差が大きい出題となりました。得意教科の難易度が合計点に影響したかもしれません。

今回の試験は、1年から2年の夏休み前までに学習した内容から広く出題されました。昨年は休校などで学校の進度が例年と異なり、理解が十分でない単元があったかもしれません。道コンのような試験は、試験範囲が広いことが特徴で、これまで習った内容のうちあいまいな箇所を見つけるには最適のツールです。受験後の確認と解き直しで、効率よく復習し、定着させましょう。

2年生の夏休み以降は、勉強が急に難しくなる、差がつきやすくなるなどよく言われます。今回の結果が良かった人も油断せずに、集中して学習に取り組み、入試に向けての良いスタートをきってください。

## 国語

易しい出題でしたが、**四**は難しかったようです。

**一**は、(7)の漢字の書き「唱(える)」の得点率が低かったです。特に口の部分を日、日の部分を目にしたものが目立ちました。入試では小学校で習った漢字も出題されます。今のうちにしっかり定着させておきましょう。**二**の問一は「終了時刻を書く。」という答えが散見されましたが、【プリント】には既に終了時刻が書かれていることに注意しましょう。**四**の問二は、「嘘をつけ！」に込められた気持ちが当てはまることに気づけたかどうかポイントです。問三は、講演の「講師」が言った「時間」の意味を補う問題です。「試験終了」とは別の場面であることをおさえましょう。**四**を間違えた人は、各段落の内容をおさえながら、もう一度本文を読んでみましょう。

## 数学

**3**以降に時間のかかる問いや得点率の低い問題がいくつかあり、平均点も低くなりました。

**1**はどれも重要な問題ですので、間違えた問題は必ず復習してください。素因数分解は整数を「素数だけの」積で表すことです。答え方も確認しましょう。問3の不等式はまず「残り」の枚数を表す式を考えましょう。比例式も自由に使えるように練習しましょう。

**3**の問2、文字式による説明は、入試でもよく出題されるので、いろいろなパターンに挑戦しましょう。

**5**の関数の問題は、式に代入して座標を求めたり、座標から関数の式を求めたりする問題に慣れましょう。

**6**問1、作図は入試でも必ず出題される重要単元です。作図の方法を暗記するのではなく、どうしてその方法で作図できるのか、仕組みを理解することが大切です。

## 社会

標準的な難易度の出題でした。

地理分野では、**2**問5のEU、**3**問3のアメリカの農業、**5**問5の九州の工業に関する問題の得点率が特に低くなりました。教科書をよく読んで内容を確認しておきましょう。また、資料を用いた問題は全体的に得点率が低くなりました。地理では資源や農産物、貿易に関する資料がよく出題されます。日頃の学習から、資料やグラフの特徴を覚えるようにしておきましょう。

歴史分野では、**7**問3(2)の年代並べかえ問題など、歴史の流れやその時代のできごとなどに関する問題の得点率が特に低くなりました。歴史では、年代に関する問題を苦手とする人がとても多いので、教科書の年表などを活用して、大まかな歴史の流れを確認するようにしましょう。

## 理科

標準的な難易度の出題でした。

**1**の動物の分類は、問2～4がやや難しかったようです。**2**の力は、問4(2)が非常に難しかったようです。**3**の状態変化は、問4の得点率が低くなりました。実験の結果と、図2が表す意味を理解できるかがポイントでした。**4**の地層は、問3はととてもよくできていましたが、他の問題は難しかったようです。問1と問2は基本的な内容ですので間違えた人は復習しておきましょう。2年分野の**5**～**8**は、問題によって得点率の差が大きくなったようです。学習した直後ということもあり、身につけていなかったことも多かったかもしれません。今のうちに、教科書などを読み直して知識を定着させるとともに、演習を繰り返し行ってこれまでの学習内容を確実に身に付けて、今後の学習に備えましょう。

## 英語

得点率が30%を下回る問いが多く見られ、全体として難しめの出題となりました。

英訳や英作文の問題など、1文すべてを書く問題はやはり得点率が低かったです。リスニング問題もふくめて、間違えた問題は次の試験までによく復習しておきましょう。

**2**問1は、**4**に比べて**1**ができていませんでした。近くに書かれていたhas a speech contestをヒントにすれば、haveを選ぶことができたと思います。文末のlast yearから、過去形にすることも注意してください。

**3**問2も正しく書けなかった人が多かったようです。〈in+言語〉は1年生で学習した表現です。空欄の前後から、どんな品詞が入るか、また、どんな意味が入るかを正確に見極める練習をしていきましょう。